

最近の景況・業況の動向についてのアンケート調査 集計結果

調査概要

- ・調査時期／令和5年7月10日（月）～7月21日（金）
- ・調査対象／当所会員1,722名（7月1日現在）
- ・調査方法／会報掲載、FAX・フォームでの回答
- ・回答数／56件
- ・回答業種／製造業48%、建設業20%、小売業9%、卸売業2%、サービス業21%

結果の詳細は
右のQRコード
からも確認
できます。



1. 景況・業況の動向

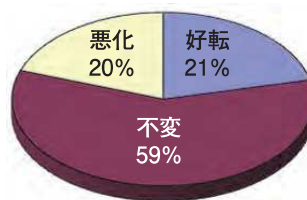
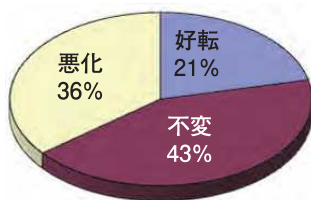
(1) 景況感

・前期と比べた今期の状況（4～6月）

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	好転	12	7	2	1	0	2
2	不変	24	9	7	2	1	5
3	悪化	20	11	2	2	0	5

・今期と比べた来期の見通し（7～9月）

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	好転	12	6	2	1	0	3
2	不変	33	17	9	2	0	5
3	悪化	11	4	0	2	1	4



(2) 景況感の判断理由

- (製造業) 車業界の動き(鈍い)の影響。
- (製造業) 好景気の状況が続いているものの、資材価格等の高騰による価格転嫁を並行して進める為、思ったほど受注量が増えて来ない。
- (製造業) 中国、インドなどのマーケットの景気減退。
- (製造業) 現在の主要客先の生産は減少したが新機種引合い有り立上げ後生産増期待できる。
- (製造業) 生産能力を超える受注状況が続いている。
- (製造業) デパート、スーパー、専門店等小売業の不振が続いている。

- (建設業) 資材は高値安定だが、民間企業の投資意欲が高く受注残が夏場以降増加している。
- (小売業) GWを過ぎた頃からまた旅行者が大幅に減少している。業務用需要が鈍化している。
- (サービス業) 業態転換の為に新しい仕事のやり方を開発中の為、全く営業活動ができていない。
- (サービス業) 毎月の事業収入は増額しているが、原価が委託費を割っているため採算がとれない。

2. 設備投資の動向

今年度、設備投資の予定はありますか。

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	実施した・実施を予定している	33	16	6	2	1	8
2	実施していない・実施の予定はない	19	9	4	3	0	3
合計		52	25	10	5	1	11

実施した・予定している設備投資として「土地」との回答が最も多く、続いて「店舗」「付帯設備」との回答が多い結果となりました。

3. デジタル化の取組状況について

(1) デジタル化の取組段階について、貴社に該当するものをお選びください。

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力に取り組んでいる	5	3	1	0	0	1
2	デジタル化による業務効率化やデータ分析等に取り組んでいる	16	8	3	0	0	5
3	デジタル化ツールを利用した業務に移行中	18	7	4	3	1	3
4	デジタル化が図られておらず、紙や口頭による業務中心	15	8	3	2	0	2
合計		54	26	11	5	1	11

(2) 今後のデジタル化の取組予定について

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	現在取り組んでいる最中	29	16	4	2	0	7
2	現在、取組を検討中	9	5	2	0	1	1
3	今後、取組を検討する予定	5	2	2	1	0	0
4	現時点で予定はない	6	1	2	1	0	2
5	わからない	6	3	0	1	0	2
合計		49	24	10	4	1	10

今回の調査結果は以上となりました。ご協力ありがとうございました。